

# 令和元年度事業報告書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

特定非営利活動法人アプカス

## 1. 事業の成果

スリランカでは、「生ゴミの堆肥化と有機農産物ブランド化を通じた零細農家の収入向上と持続可能な社会のモデルづくり事業」が6年目を迎えた。事業地であるカドゥエラ市を含むスリランカの都市部でも、他の新興国同様、生ごみ処理の問題が社会問題化しており、生ゴミの処理費用の負担による財政の悪化、ゴミによる環境汚染問題が顕在化している。当事業では、両国の専門機関と連携し、現地の気候や風土に配慮した「生ゴミの堆肥化技術」を考案、提供することにより、より効率的な有機肥料の生産を実現し、さらにその肥料を近隣農家に提供するシステムを構築すべく事業を進めている。また、同事業では合わせて、無農薬・無化学肥料栽培方法の中でも、養分やエネルギーの地域循環に着目する「循環型農業技術の普及」を行っている。昨年度から活動地域をカドゥエラ市以外にも拡大し、中部州キャンディ県の冷涼な中山間地域等でも同農法による野菜や果実の栽培が開始され、自家圃場や各地の連携農家グループから収穫された無農薬野菜や加工品は、コロombo市にある当会直営の販売所「Kenko 1st」で販売されている。取扱品についても、栽培地域が複数に増えることで、野菜・果実の種類も増加し、細かなフィードバックを行うことで品質も向上している。結果として、農家や関連グループの収入向上に今まで以上に寄与できるまでになった。今後は、加工・販売の6次化も視野に入れ、持続的な取り組みにしていきたい。

「視覚障がい者雇用促進のためのマッサージサロンの運営事業」も指圧院トゥサーレ・トーキング・ハンズ（TTH）開設から9年目を迎えた。視覚障がいを持つ指圧師のさらなる技術・サービス向上のために、本年度も日本人の指圧専門家が2週間から3週間ほど現地に滞在し、定期的な技術指導を行った。当事業は、国際協力機構（JICA）草の根支援事業に採択されていたが、スリランカで2019年4月に発生したテロなどの影響があり、事業開始が遅れていたが、JICA 北海道、スリランカ政府と粘り強く調整を行った上で、2020年2月より2年間にわたり、学習用テキスト整備やトレーニング強化が実施される運びとなった。また、TTHでの通常営業に加え、本年も視覚障がい者指圧師の活躍の場を広げるべく、オフィスセラピー（大手企業の社員福利厚生サービスとの連携）、政府機関へのPR活動、各種デザイン面の改善を行った。それらの効果もあり、スリランカ国内有数の優良マッサージ施設として、顧客の評価も高く、メディアに取り上げられる機会も増加しているが、コロナウイルスの影響で同国でも2020年3月下旬より緊急事態宣言に伴う外出禁止令がコロombo市を中心に発せられ、TTHの営業やトレーニングができない状態になっている。

「長屋再建プロジェクト」では、紅茶の名産地である中部州で、大学の建築学の専門家と共に、荒廃が進むイギリス植民地時代の「タミル人の旧紅茶プランテーション長屋」をゲストハウスとして改修し、地域住民と共に宿泊拠点として活用し、体験型ツーリズム提供による地域再活性化を目指している。今年度は、日本人関係者に滞在してもらい、接客トレーニング、体験型ツアーの練習を行うことができた。今後は、日本のツアー会社との連携も決定しており、地域の歴史や文化を学ぶことができる地域ツーリズムの事例として住民参加、サービス向上を目指していく。

また、同地域では、生計向上支援事業として、「酪農の導入による生計向上支援事業」を継続実施している。希望世帯に対して牛銀行方式の牛の提供に加え、現地に合った酪農技術の指導を行いながら、集乳センターを活用し、酪農を地域の基幹産業に育てるべく活動を行っている。

「循環型農業・林業による地域交流促進」では、スリランカで長年実施している循環型農業や環境

保全事業の知見を実践すべく、日本事務所のある函館市でも、小規模ながら農作物の試験栽培や加工、森林資源の有効活用に関する文献調査、実践、ネットワーク作りを行った。

「国際協力や地域開発に関する調査研究、支援情報収集と発信事業」では、国際協力や地域開発、両国で行っている各事業に関する情報の収集、発信、論文や事例の投稿、大学（北海道教育大学函館校）での講演活動を実施した。

「その他事業」に関しては、物品販売事業に加え、スリランカ進出企業へのサポート事業、JICA 草の根事業の受託事業を行った。

## 2. 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施月日	実施の場所	従事人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
地域開発事業	生ゴミの堆肥化と有機農産物ブランド化を通じた零細農家の収入向上と持続可能な社会のモデルづくり事業	通期	スリランカ西部州コロンボ県	15名	230農家	3062千円
〃	視覚障がい者雇用促進のためのマッサージサロンの運営	通期	スリランカ西部州コロンボ県	18名	13名の障がい当事者とその家族	20千円
〃	紅茶プランテーション長屋再建プロジェクト	通期	スリランカ中部州キャンディ県	8名	80世帯	0円※
〃	酪農の導入による生計向上支援事業	通期	スリランカ中部州キャンディ県	9名	290名	0円※
〃	循環型農業・林業による地域交流促進	通期	函館市近郊 スリランカ	9名	15名	105千円
この会の活動を促進するための情報収集事業	国際協力や地域開発に関する調査研究、支援情報収集と発信事業	通期	スリランカ 日本	7名	500名	45千円

※当該年度はスリランカ側(別法人)の資金で実施しており、日本側からの直接支出はない

### (2) その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施月日	実施の場所	従事人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
物品販売事業	農作物商品等の開発と販売、助言事業、JICA 国際協力受託事業	通期	スリランカ、日本など	6名	100名	600千円